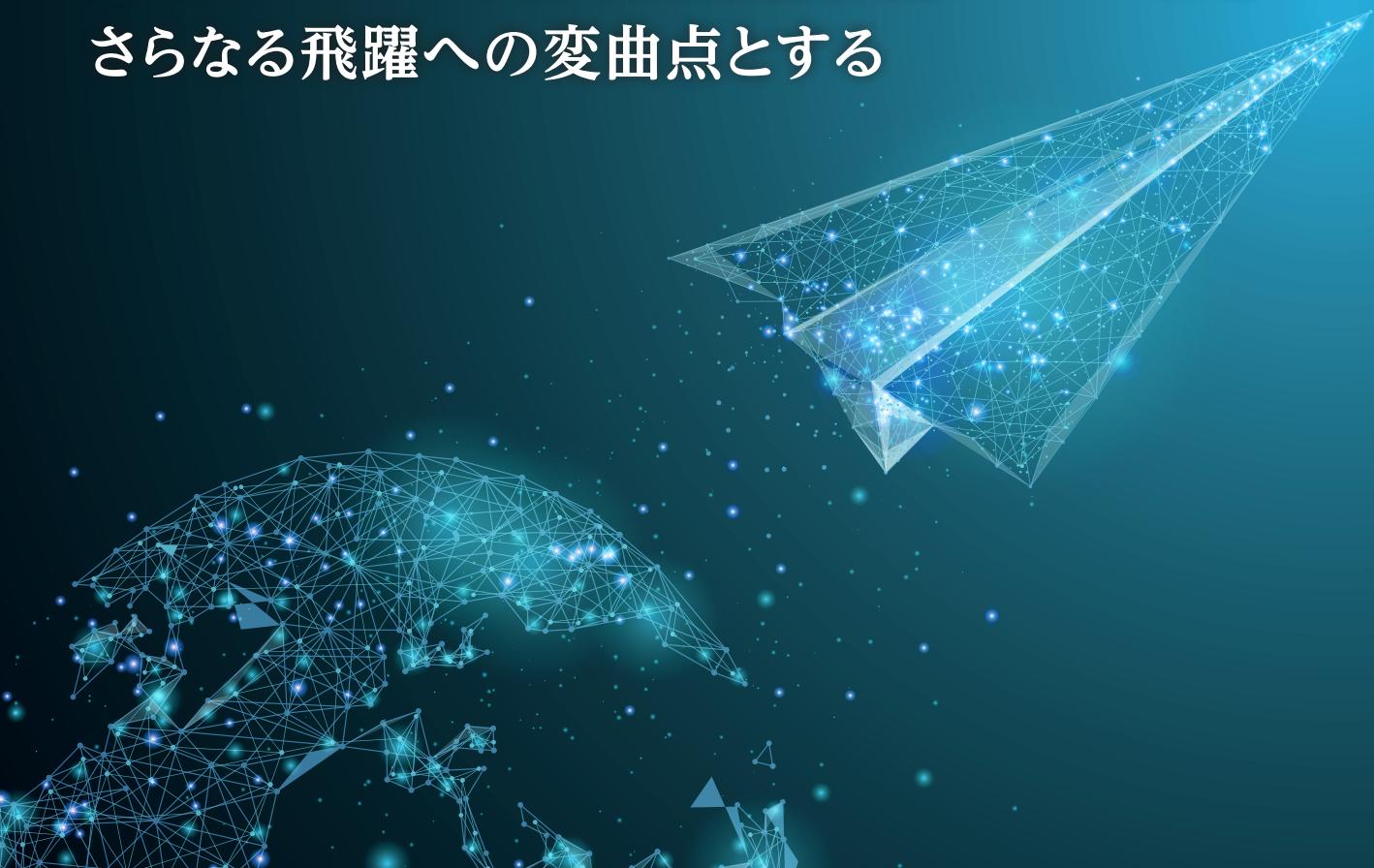


Lasertec News 20

株 主 通 信 第 5 7 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 (2018年7月1日~2018年12月31日)

好調なスタート、新中期経営計画フェーズⅢを
さらなる飛躍への変曲点とする



Lasertec

証券コード6920

新中期経営計画フェーズⅢ 好調なスタート



代表取締役社長 岡林 理

第2四半期連結累計期間の業績報告

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中間の貿易摩擦が激化し、先行きが一層不透明となりました。米国は良好な雇用と所得環境を背景に好景気を持続したものの、中国は景気の減速が顕著となりました。

当社グループの主要販売先である半導体業界では、メモリーデバイスの価格下落からメモリーメーカーは

設備投資を縮小・延期しました。また、米中間の貿易摩擦の影響もあり中国で計画されている半導体メーカーの設備投資計画の先行きが危ぶまれています。しかし、半導体の最先端分野では、次世代のEUV（極端紫外線）リソグラフィの実用化が近づき、大手デバイスメーカーやマスクブランクスメーカーでは、このEUVリソグラフィに関わる積極的な投資が開始されました。

当社グループが参入しているその他の事業領域では、FPD（フラットパネルディスプレイ）業界において、10.5世代と呼ばれる大型パネル向けを中心にFPD用マスクメーカーの投資が行われました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の業績は好調に推移し、売上高は168億37百万円（前年同期比61.1%増）となりました。営業利益につきましては51億48百万円（同57.1%増）、また親会社株主に帰属する四半期純利益は38億48百万円（同59.3%増）となりました。売上、利益のいずれも半期6カ月間の過去最高額となります。

今後の見通しにつきましては、通期で売上高280億円、営業利益65億円、親会社株主に帰属する当期純利益50億円を見込んでおり、期初の業績予想から変更はありません。

第2四半期連結累計期間の受注に関して

当第2四半期連結累計期間の受注高は、262億67百万円となりました。新製品の大型受注が牽引した前年同期と比べると減少しましたが、なお高い水準の受注が続いています。

新中期経営計画フェーズⅢ

IoT(モノのインターネット)、5G(第5世代移動通信システム)、AI(人工知能)、ADAS(先進運転支援システム)などの最新のテクノロジーでは、大量の半導体が使われ、半導体産業は長期的な成長軌道に入りました。また、当社は半導体製造技術やデバイス構造の革新をさらなる成長の機会ととらえ、積極的な新製品の開発と販売により市場の拡大を上回る成長を目指します。特に、EUVリソグラフィに関わる分野は非常に高度な技術が要求され、製品には高い付加価値を与えることができるため、大きな成長のドライバーとなりえます。

当社は前期までに、EUVマスクブランクス欠陥検査/レビュー装置ABICS、EUVマスク欠陥検査装置MATRICS X8ULTRA、EUVマスク裏面検査/クリーニング装置BASICの3製品を市場に出しており、これらEUVリソグラフィ関連製品の受注および売上を本格化させ、業績に大きく貢献させることで、今期から始まった新中期経営計画フェーズⅢを飛躍への変曲点とする所存です。

中間配当に関して

当社は、株主の皆さまへの利益還元の機会を充実させるため、前期より中間配当の実施を始めました。今回が2回目の実施となり、配当額は前期中間配当に比べ4円増配の16円といたします。期末配当は23円を予想しており、通期合計で39円(前期比5円の増配)となる見込みです。

レーザーテックは、経営理念である「世の中のないものをつくり、世の中のためになるものをつくる」の精神に基づき、世界中の皆さまのご要望にどこよりも早くお応えできる製品を開発し、お客さまに貢献すると同時に、業績の向上を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新中期経営計画

2009年7月から2021年6月までの計12年間を、3年ごとにフェーズ0からフェーズⅢまで4つのフェーズに分け、それぞれに注力すべき目標を掲げた経営計画。今期はフェーズⅢの初年度。

第2四半期連結累計期間 業績ハイライト

売上高	受注高	営業利益	純利益*
16,837 百万円	26,267 百万円	5,148 百万円	3,848 百万円
前年同期比 61.1%増 	前年同期比 6.6%減 	前年同期比 57.1%増 	前年同期比 59.3%増 

* 親会社株主に帰属する四半期純利益

Topic 1

本社において「ISO14001」と「OHSAS18001」の認証取得(2018年9月18日)

このたび、環境に関する「ISO14001」と労働安全衛生に関する「OHSAS18001」の認証を取得しました。2002年に取得した品質に関する「ISO9001」と合わせ、当社は3つの国際規格を保有しております。グローバルに業務を展開する当社がこれらの認証を継続・維持することで、これからもお客さまから信頼される企業を目指してまいります。

Topic 2

International Conference on Extreme Ultraviolet Lithography 2018 (米国、モントレール)でBACUS賞を受賞(2018年9月20日)

EUVマスクブランクス欠陥検査/レビュー装置 ABICS E120の開発実績が評価され、SPIE (米国に拠点を置くフォトマスク技術およびEUVリソグラフィに関する国際学会) から、基礎開発・実用化開発・商用化開発の各段階を代表して3名に「BACUS賞」が授与されました。うち実用化開発・商用化開発は当社社員が受賞し、権威ある学会で賞を得たことで業界内における知名度が向上しました。今後はお客さまをはじめ各方面からの期待に応えるため、円滑に装置の納品が行えるよう取り組んでまいります。



Topic 3

新製品発売：マスクブランクス欠陥検査/レビュー装置 MAGICSシリーズ「M9650/M9651」(2018年11月27日)

設計ルール5nm世代以降の最先端半導体用マスクブランクス欠陥検査装置を発売しました。従来製品より単位時間当たりの処理能力を高め、EUV用マスクブランクス^{※1}をはじめ光マスク用ブランクス、サブストレート^{※2}の欠陥検査に対して、高い検出感度を実現しました。本装置はすでに多くの引き合いをいただいております。複数台の納入が決定しております。



※1 フォトマスク(ウェハに回路パターンを転写させる原版)作成用の材料

※2 マスクブランクスの母材となるガラス基板

株主さまアンケート結果のご報告

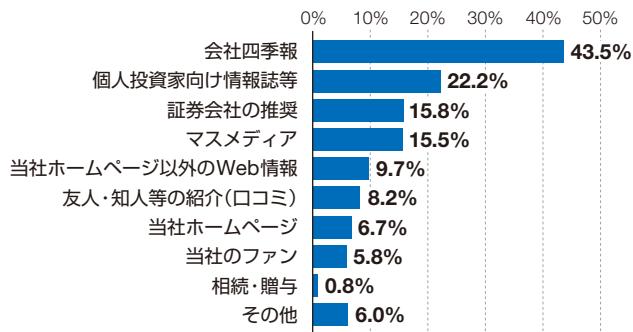
Lasertec News 19に同封のアンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。このたび頂戴いたしましたご意見を今後の経営やIR活動に反映させていきたいと考えております。

紙面の都合上一部ではございますが、下記に調査結果をご紹介します。

アンケートの概要

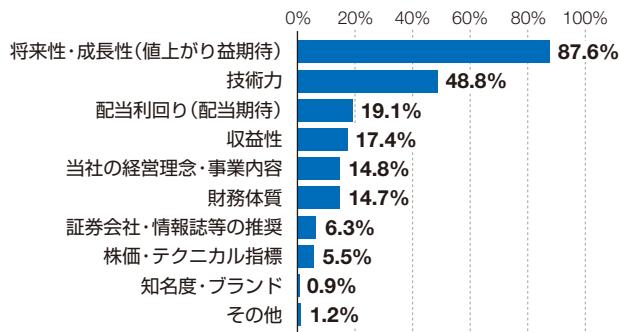
調査対象	株主さま 8,172名
調査方法	ハガキによる調査(2018/9/27～10/31)
回答数	1,631通(回答率20.0%)

1 当社株式を取得されたきっかけ・理由をお聞かせください。(複数回答可)



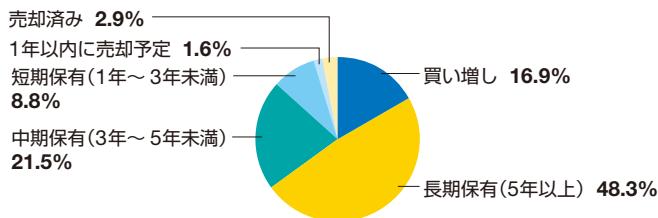
昨年と比較すると「会社四季報」「証券会社の推奨」回答割合が減少し、「マスメディア」の回答割合が増加しました。各誌、ラジオなどのメディアで紹介されたことが背景にあり、今後も知名度向上に努めてまいります。

2 当社株式を購入された際、重視されたことは何ですか。(複数回答可)



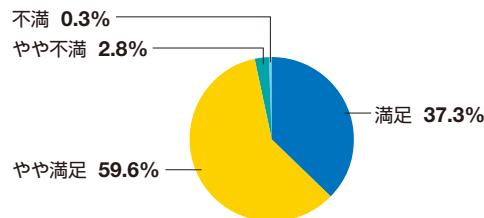
「将来性・成長性(値上がり益期待)」が87.6%と突出しており、続いて「技術力」(48.8%)となり、昨年と比較するとこの2項目の回答割合が増加しています。株主さまの期待にお応えできるよう、最先端の光応用技術を活用した検査・計測装置の開発でさらなる成長を目指してまいります。

3 当社株式の今後の保有方針についてお聞かせください。(1つだけ選択)



「長期保有」48.3%、「中期保有」21.5%と続きます。昨年と比較して「買い増し」「売却済み」の割合が減少しています。長期保有していただけるよう、企業価値向上を目指してまいります。

4 Lasertec News 19について全体のご評価(1つだけ選択)



「満足」のご評価をより多くいただけるよう、新規の株主さまにも分かりやすい誌面作りを心掛けてまいります。またWebサイトに「個人投資家の皆さまへ」というコーナー(<https://www.lasertec.co.jp/ir/individuals/>)をご用意しております。ぜひ併せてご覧ください。

2019年6月期（第57期）第2四半期累計期間の連結決算のご報告

連結貸借対照表(要約)

(百万円未満切り捨て)

科目	当第2四半期 2018年12月31日	前第2四半期 2017年12月31日	前連結会計年度 2018年6月30日	科目	当第2四半期 2018年12月31日	前第2四半期 2017年12月31日	前連結会計年度 2018年6月30日
資産の部				負債の部			
流動資産	36,665	27,122	29,387	流動負債	15,491	8,791	10,779
				固定負債	314	203	288
固定資産	8,957	7,680	8,733	負債合計	15,806	8,995	11,068
				純資産の部			
資産合計	45,623	34,802	38,121	株主資本	29,655	25,390	26,799
				① 純資産合計	29,816	25,806	27,053
				負債純資産合計	45,623	34,802	38,121

連結損益計算書(要約)

(百万円未満切り捨て)

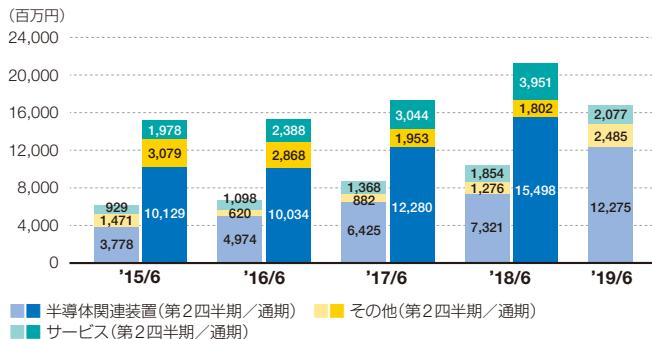
科目	当第2四半期 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	前第2四半期 (自2017年7月1日 至2017年12月31日)	前連結会計年度 (自2017年7月1日 至2018年6月30日)
② 売上高	16,837	10,451	21,252
売上原価	7,334	4,418	9,251
売上総利益	9,503	6,033	12,001
販売費及び一般管理費	4,355	2,756	6,315
③ 営業利益	5,148	3,277	5,685
③ 経常利益	5,150	3,293	5,706
③ 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	3,848	2,415	4,366

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

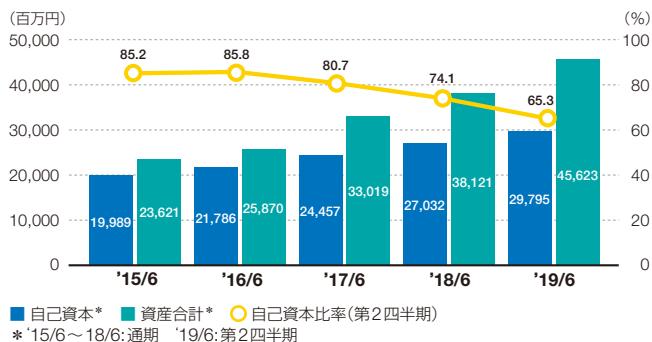
(百万円未満切り捨て)

科目	当第2四半期 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	前第2四半期 (自2017年7月1日 至2017年12月31日)	前連結会計年度 (自2017年7月1日 至2018年6月30日)
④ 営業活動による キャッシュ・フロー	6,617	3,083	2,916
投資活動による キャッシュ・フロー	△272	△181	△684
財務活動による キャッシュ・フロー	△992	△1,263	△1,805
現金及び現金同等物の 期首残高	10,107	9,736	9,736
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	15,434	11,401	10,107

製品別売上高



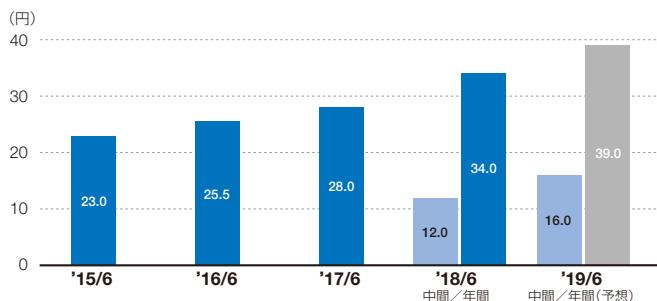
自己資本・資産合計・自己資本比率



営業利益・営業利益率



1株当たり配当金



※2017年4月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施いたしました。上記の金額は、2015年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しています。また、2018年6月期より中間配当を実施しております。

第2四半期：7月1日～同年12月31日 通期：7月1日～翌年6月30日

決算のポイント

① 純資産合計

株主資本にその他の包括利益累計額および新株予約権を加えた純資産合計は298億16百万円となりました。自己資本比率は65.3%で、引き続き財務の健全性を維持しています。

② 売上高

半導体マスク欠陥検査装置が牽引し期初予想を上回り、半期において過去最高額を更新しました。

③ 利益

売上の増加および為替の影響により期初予想を大きく上回り、半期において過去最高額を更新しました。

④ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益、前受金の増加などの収入要因が、たな卸資産の増加、売上債権の増加などの支出要因を上回りました。

会社概要 (2018年12月31日現在)

社名	レーザーテック株式会社
所在地	〒222-8552 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目10番地1
設立	1962年8月
資本金	9億3,100万円
主な事業内容	下記製品の開発・製造・販売・サービス 1. 半導体関連装置 2. エネルギー・環境関連製品 3. レーザー顕微鏡関連製品 4. FPD関連装置
従業員数	連結 353名 単体 239名
お問い合わせ先	045-478-7127 (経営企画室)

株式情報 (2018年12月31日現在)

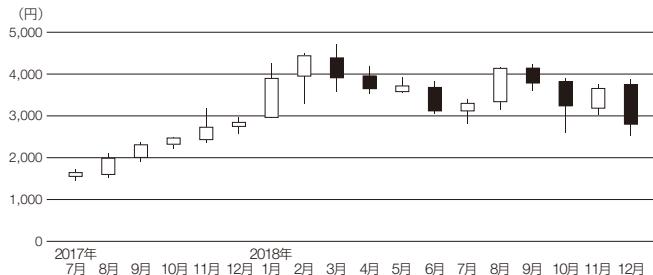
株式概要

上場市場	東京証券取引所市場第一部
発行済株式総数	47,143,200株
株主数	7,868名
大株主一覧	
	持株数(千株) 持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,412 5.35
内山 靖子	2,003 4.44
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,873 4.15
内山 洋	1,741 3.86
BBH FOR MATTHEWS JAPAN FUND	1,534 3.40
株式会社三菱UFJ銀行	1,504 3.33
内山 秀	1,394 3.09
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,391 3.08
前田 せつ子	1,293 2.86
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 385576	864 1.91

(注)1. 上記のほか、当社が所有している自己株式2,054千株(発行済株式数に対する所有株式数の割合4.35%)があります。

2. 持株数・持株比率は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

株価の推移



役員

代表取締役社長 岡林 理	社外取締役 梶川 信宏 海老原 稔 下山 隆之
代表取締役副社長 楠瀬 治彦	常勤監査役 塚崎 健明
常務取締役 内山 秀	監査役 齋藤 侑二 石黒 美幸
取締役 森泉 幸一 関 寛和	

株主メモ

事業年度	7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月
基準日	毎年6月30日(なお、その他必要あるときは、あらかじめ公告した日)

単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告掲載URL <https://www.lasertec.co.jp>
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本店でお支払いいたします。

当社Webサイトのご案内

<https://www.lasertec.co.jp>

Webサイト「個人投資家の皆さまへ」
をリニューアルし、内容の充実を図り
ました。ぜひご覧ください。

企業ホームページ
最優秀サイト
2018
日興アイ・アール
総合ランキング

